

平成 30 年度 相談支援部会 中間活動報告書

平成 30 年度の主な取組内容

- ◆ 緊急の場面, 緊急時の対応等についての協議
- ◆ わかりやすく, 使いやすいツール(児童版)の発行
- ◆ 相談支援事業所間の連携, 情報共有等の横のつながりの強化

活動の状況

	日にち	内容	備考
ワーキング G	5月11日	ツールの内容(相談支援専門員の役割や各種サービス, Q&A等)について検討	
第1回部会	5月11日	① 前年度の取り組みの振り返り ② 今年度の取り組みについて協議 ③ 国分寺市障害者緊急入所保護事業について ④ ツールワーキング進捗状況 ⑤ 相談支援事業所連絡会発足準備	
相談支援事業所連絡会	5月17日	① 国分寺市障害者緊急入所保護事業について *実施規則の確認, フロー図(案) ② 計画相談100%を維持するための取り組みについて協議	
相談支援事業所連絡会	6月21日	① サービス・社会資源の情報交換 ② 緊急を緊急にしない取り組み ③ 報酬改定について	
相談支援事業所連絡会	7月19日	① 緊急を緊急にしない取り組み *緊急対応となる可能性が高いケースの分析について ② 利用計画作成に関する情報交換	
相談支援事業所連絡会	8月30日	緊急対応となる可能性の高いケースの把握と今後の対応について	
ワーキング G	8月31日	「あんしん相談ナビ(仮称)」の掲載内容及び構成について	
第2回部会	9月13日	国分寺市障害者緊急入所保護事業について *課題整理及び高齢・児童分野との連携について ① 緊急対応となる可能性の高いケースの精査・今後の訪問について	
相談支援事業所連絡会	9月20日	② セーフティーネットとなる社会資源の検証・情報交換	

成果・活動から見えてきたことなど

これまで市内の相談支援事業所においては、定例的に協議や情報交換等を実施するような、いわゆる「横の連携」が乏しいことが課題として挙げられていた。今年度からは相談支援部会の計画相談ワーキンググループを「相談支援事業所連絡会」に発展させ、基幹相談支援センターと市内全相談支援事業所が毎月定例会議を実施しているが、これまで、報酬改定の勉強会や、サービス等利用計画作成上の考え方の確認、市内及び近隣市におけるサービス提供事業所の情報交換等を積極的に行い、連携と情報共有の効果が出てきている。

また、今年度の注カテーマである緊急時の対応についても、国分寺市障害者緊急入所保護事業についての意見交換をきっかけとして、「緊急を緊急にしない体制作り」について、部会及び相談支援事業所連絡会で議論やセーフティネットになりうる地域資源の確認を行っている。それらの議論を通じて、緊急時対応が必要となる可能性が高いと思われる世帯について相談支援専門員を通じて調査・分析を行った。対象世帯については、10月より相談支援専門員（状況に応じて市障害福祉課もしくは基幹相談支援センターも同行）が訪問・面談を実施し、市内短期入所事業の利用説明やキーパーソンの確認等を行う取り組みを開始している。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
第3回部会	12月14日	① 緊急を緊急にしないための連携や取り組みについて	
第4回部会	2月13日	② 『あんしん相談ナビ(仮称)』の有効活用と今後のツール作成について	
相談支援事業所 連絡会	10月18日 11月15日 12月20日 1月17日 2月21日 3月22日	① 事例検討会及び合同研修について ② 市内及び近隣市の社会資源活用 ③ 国分寺オリジナルのサービス等利用計画関連書式導入に向けて ④ 相談支援事業所間の連携強化・情報共有について	
ワーキングG	12月中旬	『あんしん相談ナビ(仮称)』の作成	

その他

--

平成 30 年度 就労支援部会 中間活動報告書

平成 30 年度の主な取組内容

- ◆ 就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議
- ◆ 就労支援関係機関による連携強化のための仕組みづくりについて協議
- ◆ 高工賃を実現するための具体的な取組の検討・実施
- ◆ 農福連携を実現するための具体的な取組の検討・実施

活動の状況

	日にち	内容	備考
第 1 回部会	5月 29 日	① 平成 29 年度活動報告 ② 平成 29 年度農福連携に関する活動報告 ③ 平成 30 年度の取組について	9月～10月 農福連携の取組について関係者で協議
市外施設 見学会	8月 8 日	高工賃を実現している市外施設見学会を実施【資料 2-3】	
第 2 回部会	9月 7 日	① 市外施設見学会に関する報告及び高工賃を実現するための取組について ② 一般就労支援における現状の課題及び今後の取組について ③ 就労支援部会における次年度の取組について	

成果・活動から見えてきたことなど

昨年度の農福連携に関する活動について報告を行い、課題や今後の方向性について協議を行った。農業体験を通じて利用者ができそうな仕事を見出すことによって、様々な可能性がある手応えを得られたが、受入れ先農家の障害者への理解や受託する施設側の技術の習得、また、工賃等契約内容の整理が課題であり、今後も引き続き関係者間で検討が必要である。

高工賃の実現には、地域や様々な方との繋がりを深めることにより、受注機会を増やす努力が必要である。商工関係者が集まる会合等へ、代表者が営業に出向くことも有効と考えられる。また、利用者の障害特性や発注元業者との関わりも考慮しながら、より利益率の高い作業に注力することも必要になってくる。

知的障害者の就労移行支援の利用が減少している。特別支援学校の生徒や保護者にとっては、期限内で就労に至らなかった場合にどうなるのかといったことへの不安から、生活介護や就労継続支援 B 型の利用が増える傾向にあることが要因の一つである。就労移行支援を利用することで、一般就労に結び付く可能性が高い方には、よりきめ細やかな情報提供が必要である。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
第3回部会	11月28日	① 農福連携の取組について協議	
意見交換会	12月中旬～ 1月中旬	② 商工機関との連携について協議 ③ 「地域の就労支援機関と医療機関連携による精神障害者の就労促進に関する意見交換会」実施 ④ 意見交換会の実施報告	
第4回部会	1月下旬～ 2月上旬	⑤ 次年度に向けての取組について具体的な内容の協議 ⑥ 今年度の取組についての報告・総括，次年度のスケジュール等確認	

その他

--

平成 30 年度 精神保健福祉部会 中間活動報告書

平成 30 年度の主な取組内容

- ◆精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議を行う。
- ◆早期支援体制の確立に向けて、先進地域の取組について把握し、市における現状と課題を抽出する。
- ◆長期入院者の実態把握と、地域移行支援の在り方を検討する。

活動の状況

	日にち	内容	備考
第 1 回 (実施済)	5 月 11 日	① H29 年度の活動報告 ② 住宅確保に関するポイント 地域の不動産会社による情報提供と意見交換 ③ 平成 30 年度の部会の取り組み ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて ・早期支援体制について ・長期入院から地域移行の事例について ④ 「地域移行」をテーマとした、基幹相談支援センターのネットワーク研修会報告	→②不動産会社が困った経験と好事例の紹介。 →③今後地域の社会資源の洗い出し等情報把握を進める。 ・他の先進的地域の取組や、教育機関等の取組についての情報収集と共有から、課題抽出と今後の取組について検討を行う。
第 2 回 (実施済)	8 月 29 日	①早期支援の先進的取組、所沢市早期支援体制「アウトリーチ事業」について。 (所沢市アウトリーチチームより実践報告と意見交換) ②教育現場におけるメンタルヘルスへの取り組みの現状と課題。(市内公立中学校養護教諭より報告と意見交換)	→①多職種連携によるチーム編成、多角的な視点、官民の共同の体現、対象者の支援利用感覚の醸成、初動支援の肝要 →②思春期の心の危機へのアプローチ ・相談先、支援システムについて ・現場は児童精神科医とのつながりを希求

成果・活動から見えてきたことなど(課題整理)

精神障害者を対象とした地域包括ケアシステムの創設に向けて、

◆住居確保におけるコソと、居住生活継続支援の要点、並びに住居の需給の接点の確保をどのように作るかという課題は鮮明になった。

→今後、他市の状況把握並びに、国分寺における課題追求の基本的な議論を開始

◆「早期発見・早期対応」という課題に対する視点の深化と、当事者ヒアリングなどの直接的なニーズ把握並びに対応イメージ(多職種チーム構成なども含む)の構築に向けた検討を行う。

◆思春期のメンタルヘルスへのアプローチは「プライマリーケア」という視点での関わりが大切

→児童精神医学的視点からの医師の関わり確保は課題

→メンタルヘルス・精神保健福祉推進機関のジャンルを超えた広域情報交流、そして連携への進化が必要

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
第3回	12月12日	① 当事者ニーズと市内関係機関の取り組み状況把握 ② 地域移行支援事例について ③ 根岸病院「機能強化病棟」の現状 ④ 地域包括ケアシステム構築に向けて市内社会資源の洗い出し、現状と課題確認	→②昨年度検討事例等の経過確認や検討 →③地域移行の推進状況確認 →④国の示す仕組み図からみた現状確認
第4回	1月中旬～2月上旬	① 今年度の取組についての検証等 ② 東京都精神科医療地域連携事業について ③ 次年度に向けての課題・取組について協議	→②高月クリニック PSWからの報告と今後の展開について提起

その他

◆引き続き「精神障害者を対象とした地域包括ケアシステム」の創設に向けて、部会として情報収集や地域診断を行いながら推移しているが、構想として立ち上げていく難易度の高さを感じている。